

デイ便り



花(コスモス)をモチーフにした壁紙をつくっていただきました。花言葉は「純粹」、利用者の皆様のご様子ですネ(ニコッ)

さて、敬老の日の自治会からの贈り物について皆様に尋ねると「饅頭」「金山寺みそ」「500円商品券」などの返事があり、わかばからは心のこもった手作り巾着(右下記事参照)を贈り、喜んでいただきました。

<感染対策・減収補填は公費で>

新型コロナ感染拡大のなか、厚生労働省老健局より6月1日付けで現行のサービス内容のまま、通所系サービスには2区分上位の報酬を、短期入所には緊急受入加算を、利用者の同意を得て割増し算定することを可能とする通知が出されました。

わかばでは、デイサービスとショートステイが対象になり、これらを算定すれば一定の減収補填ができます。しかし、これらの措置は、理屈の通らないものであり、利用者の負担増や支給限度額にもつながるものです。全国的にも批判をあびており、算定しない事業所には相当の援助金を支給(長野県飯田市)や措置の見直しと同時に県独自の措置を求める決議の採択(富山県議会)などが報道されています。

わかばでは、算定を見合わせ、公費投入による抜本的な支援を求める運動に連帯していく方針です。



「さつまいものプリン 餡子のせ」

さつまいものプリンの上に餡子とクリーム、栗に見立てた柔らかい黄桃をトッピングしました。繊維質の多いさつまいもはお通じや美容にも良く、今回も皆さん「おいしいわぁ」と喜んで食べてくださいました。(管理栄養士)



8月のある日のこと。わかばを訪ねて来られた方が、写真のような素敵な巾着を寄附してくださいました。お母様が手作りの袋などを福祉施設に贈っていたのをご自身も続けられている、とのこと。敬老の日のプレゼントにさせていただきました。有難うございます。

コロナ禍が始まって早8ヶ月。元の暮らしに戻るのはいつなのか見通しもたちません。この閉塞した生活の中でもささやかな楽しみがあります。友人に「コロナで外出もできず寂しい」とメールを送ったら、ほぼ毎日、写真とメッセージを送ってくれるようになりました。友人は自然豊かな地域に住んでいて、私の知らない花や、昆虫、鳥、風景などの写真を送ってくれます。凛々しい面構えの蛙や、優雅に泳ぐ黒鳥の写真が心を癒してくれます。そして孫の写真と動画。自分の孫のようにその成長を楽しんでいます。コロナ禍の中で、友人との友情が一層「密」になったことがうれしいです。やはり人と人との繋がりはかけがえのないものですね。(A・M)

編集後記